

# 日本藻類学会第43回大会のご案内

## — 京都・2019 —

日本藻類学会第43回大会（会場：京都大学吉田キャンパス吉田南構内）を以下の要領で開催いたします。春の陽気が少しずつ感じられる季節に皆様を京都でお迎えできることを大変うれしく思います。多くの方々のご参加をお待ちしております。

日本藻類学会第43回京都大会実行委員会  
大会長 宮下英明  
実行委員長 福澤秀哉

### 1. 日程

2019年3月15日（金）：編集委員会、評議員会、ワークショップ

3月16日（土）：口頭・ポスター発表、総会、懇親会

3月17日（日）：口頭・ポスター発表、公開シンポジウム

### 2. 会場（図1・図2）

大会：京都大学 吉田南キャンパス（京都市左京区吉田二本松町）

懇親会：京大学生協 北部食堂（京都市左京区北白川追分町）

（京都大学HPのキャンパスマップもご参照ください。）

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/>

### 3. 参加費

2019年1月21日（月）までのお振り込み：

大会参加費 5,000円（学生3,000円）

懇親会費 5,000円（学生3,000円）

2019年1月22日（火）以降のお振り込み：

大会参加費 6,000円（学生4,000円）

懇親会費 6,000円（学生4,000円）

### 4. 参加および発表申込

(1) 参加申込（電子メールでお送り下さい）

大会参加者は発表の有無または共同発表者の有無にかかわらず、参加申込票に必要事項を記入してお申し込み下さい。参加申込票は日本藻類学会ホームページ（[http://sourui.org/annual\\_meeting/index.html](http://sourui.org/annual_meeting/index.html)）のリンク先からダウンロードできます。電子メールの添付書類として送信して下さい（宛先：JSP43rdKYOTO\_registration@outlook.jp）。

(2) 研究発表（一般発表）の申込方法

演者（日本藻類学会員に限ります）は、下記12.の要領で発表要旨原稿を作成し、電子メールの添付書類でお送り下さい。発表1件ごとに口頭／ポスターの希望を書いています。

ただきますが、プログラムの都合上ご希望に添えない場合があることをあらかじめご了承下さい。口頭発表は1人1件とします。

(3) 参加費（大会参加費・懇親会費）の振込方法

参加費は下記の「ゆうちょ銀行口座」にお振り込み下さい。  
振込先：日本藻類学会第43回京都大会実行委員会（ニホンソウルイガツカイダイオンジュウサンカイキョウトタイカイジッコウイインカイ）

【記号】14470 【番号】52035701

他金融機関からの入金の場合は以下の情報が必要です。

【店名】四四八（ヨンヨンハチ）【店番】448

【預金種類】普通貯金【口座番号】52035701

\*振込に係る手数料は、振込方法や振込元の金融機関によって異なることにご注意ください。

(4) 締め切り

参加申込票の送付・振込：2019年1月21日（月）〔必着〕

発表要旨原稿送付：2019年1月28日（月）〔必着〕

### 5. 編集委員会および評議員会

編集委員会：3月15日（金）15:00～16:30

評議員会：同日 16:30～18:00

会場：京都大学吉田南キャンパス総合人間学部棟207教室

### 6. 一般発表

口頭発表は2会場で実施する予定です。プログラムの都合上、口頭での発表数は先着60～70講演程度となりますので、あらかじめご了承ください。

### 7. シンポジウム

開催内容が決まり次第、年会ウェブ上に掲載いたします。

### 8. 藻類学ワークショップ

#### A. HPLCによる色素解析セミナー

クロロフィル、カロテノイド、フィコビリタンパク質など藻類の色素は、藻類の分類学的位置、環境サンプル中の植物プランクトン組成などを知ることのできる有用なマーカーです。また、藻類は様々なストレスにตอบสนองして産業上有用なカロテノイドなどを生産することも知られています。本ワークショップでは、藻類の色素分析法として簡便かつ有用な方法であるHPLC法を用いて、藻類の色素組成分析法について学びます。

- A : 総合人間学部棟
- B : 吉田南総合館
- C : 国際イノベーションセンター
- D : 吉田南テニスコート
- T : 時計台
- H : 北部食堂

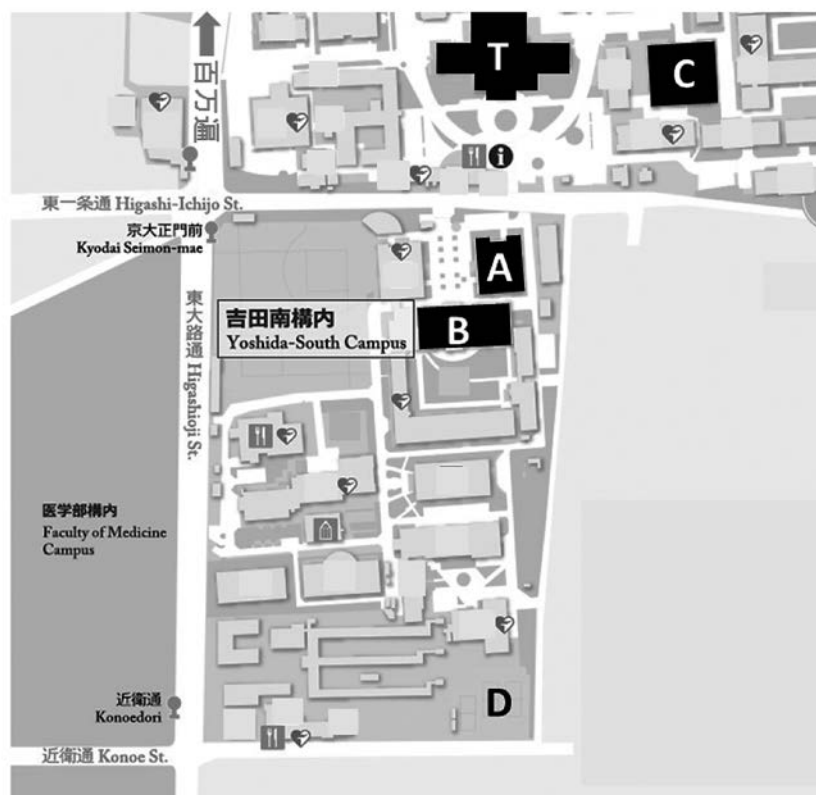


図 1. 吉田南キャンパス

講演者：宮下英明

実験指導：宮下研究室メンバー

日時（予定）

3月15日13時00分～18時00分

於：京都大学吉田南キャンパス総合人間学部棟1201室

12:30～受付（食事を済ませて来て下さい）

12:55～開催の挨拶，連絡事項

13:00～講義1「藻類の色素，分類マーカーとしての色素」

14:00～講義2「HPLC色素分析の流れとコツ」

15:00～実習1「持参したサンプルの色素組成分析とデータの解釈」

16:30～実習2「持参したサンプルの色素組成分析とデータの解釈」

17:30～質疑応答

18:00 終了・解散

申込み方法：以下のメールアドレスまで事前にお申込みください（最大10名）。サンプルは個別にお持ちください。凍結や濃縮などをあらかじめしておく必要はありません。お申し込み先：miyashita.hideaki.6v@kyoto-u.ac.jp（宮下英明）

#### B. 琵琶湖博物館見学会

滋賀県立琵琶湖博物館は、人間と湖のよりよい共存関係を築くことを目指してつくられた、日本有数の規模を誇る総合博物館です。以下の3つを基本理念としています。

- 1 テーマをもった博物館  
「湖と人間」というテーマを掲げ、自然と文化の両方を同時に扱う総合博物館である。
- 2 フィールドへの誘いとなる博物館  
来場者の興味が博物館の中だけで終わるのではなく、生活や地域などのフィールド（現場）に向かいたくな



図2. 百万遍付近マップ

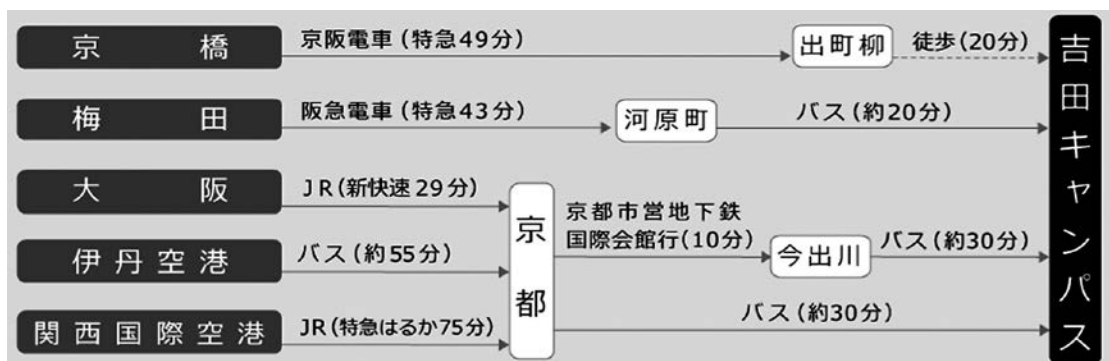


図3. 吉田キャンパスまでのアクセス  
(観光シーズンには、京都駅からのバスは祇園付近で渋滞するので、地下鉄のご利用をお勧めします。)

るような展示や体験プログラムを提供する。

- 交流の場としての博物館  
あらゆる人びとが、展示や交流活動、研究・調査活動などに関わることができ、楽しみながら学び考え、出会いの場となる博物館を目指す。

琵琶湖博物館には琵琶湖とその周辺地域の地学・考古・歴史および現代の環境に関する展示が揃っています。また国内最大級の淡水生物の展示を擁し、顕微鏡的サイズの生物ばかりを集めた「マイクロアクアリウム」のコーナーも

あります。

琵琶湖博物館は開館当時から、地域の人たちを巻き込んだ活動を進めてきました。それは研究についても例外ではなく、活動参加者が論文などの形で多くの研究成果を自ら発信してきました。また、2016年から順次リニューアルを行い、近年の学術の進展や環境の変化に対応した展示への更新を進めています。そのことによって来館者増だけでなく、琵琶湖と周辺地域の環境についてよりよく学び考える場となることを目指しています。

本見学会では、展示見学の中で学芸員が、琵琶湖博物館

がいかにしてともに学ぶ場を創り出してきたかを紹介します。この経験が、参加者それぞれの教育現場に生かされることを期待します。

引率者：大塚泰介

日時（予定）

3月15日13時00分～15時00分

於：滋賀県立琵琶湖博物館

日程および会場：3月15日13:00～，

申込み方法：以下のメールアドレスまで事前にお申込みください（最大20名）。集合時間や集合場所はお申込みされた方に追って連絡差し上げます。

お申し込み先：ohtsuka-taisuke@biwahaku.jp（大塚泰介）

## 9. レクリエーション

藻類学会員の親睦を深めるため、テニス大会を以下のように企画しています。参加希望者はご連絡下さい。

日時：2019年3月15日（金）13:00～16:00

場所：京都大学吉田キャンパス吉田南構内テニスコート（予定：図1）

連絡先：山口晴代（国立環境研究所）E-mail：yamaguchi.haruyo@nies.go.jp

## 10. 問い合わせ先

〒606-8501 京都府京都市左京区吉田二本松町

京都大学大学院人間・環境学研究所

日本藻類学会第43回京都大会実行委員会・神川 龍馬

E-mail：kamikawa.ryoma.7v@kyoto-u.ac.jp

TEL：075-753-7894

（お問い合わせ・参加申込は基本的に電子メールでお願いします。）

## 11. 宿泊・会場までの交通・受付・昼食

### (1) 宿泊

・会場の京都大学周辺には宿泊施設がほとんどありませんが、大会実行委員会よりホテル等の斡旋は行いませんので、各自でお調べいただき手配をお願いいたします。また、京都市内ホテルの客室稼働率は高い傾向にあり、大会直前に予約すると宿が確保できないことも予想されます。できるだけ早めに予約されることをお勧めします。

### (2) 会場までの交通（図3）

・空路1：「伊丹空港」→ 京都駅八条口行シャトルバスに乗り「京都駅八条口」で下車→ 京都市バス206号系統に乗り換えて「京大正門前」で下車（徒歩5分）。または京都駅から京都市バス17号系統に乗り換えて「百万遍」で下車（徒歩10分）。

・空路2：「関西国際空港」→ 特急はるかに乗車し「JR京都駅」で下車→ 京都市バス206号系統に乗り換えて「京大正門前」で下車（徒歩5分）。または京都駅から京都市バス17号系統に乗り換えて「百万遍」で下車（徒歩10分）。

・JR：「JR京都駅」→ 京都市バス206号系統に乗り換えて「京大正門前」で下車（徒歩5分）。または京都駅から京都市バス17号系統に乗り換えて「百万遍」で下車（徒歩10分）。

・その他の経路については図3をご参照ください。なお、乗用車でのご来場はご遠慮ください。

### (3) 受付

・3月15日（金）15時～18時および16日（土）8時から吉田南総合館にて受付を開始します（予定）。

### (4) 昼食

・大会期間中の学内食堂におきましては、土曜日はカンフォーラ、ルネ、北部食堂のみ営業、日曜日はカンフォーラ、ルネのみ営業です（[http://www.s-coop.net/shop\\_guide/yoshida\\_shop/](http://www.s-coop.net/shop_guide/yoshida_shop/)）。大学周辺、特に百万遍近辺にも食堂・コンビニがありますのでご利用ください。

## 12. 発表要旨原稿の作成要領と原稿送付方法

原稿形式：MS-WORD形式の電子ファイルを電子メールに添付してお送り下さい。

記載順序：発表者名、演題、本文、所属の順に書いて下さい。所属は（ ）でくり、最下段末尾に書いて下さい。

共著と所属の表示：共著の場合は演者名の前に○をつけ、所属が異なる場合は、各著者名の後ろに上付き数字を付し、所属ごとに区別して下さい。

フォント：全角文字（2バイト文字）は明朝体（12ポイント）、英字（1バイト文字）はTimes（12ポイント）を使用して下さい。機種依存文字（丸数字など）は使用しないで下さい。句読点：和文原稿の場合、全角の「，」「。」を使用して下さい。学名表示：下線付き表示ではなく、斜字体（イタリック）で表示して下さい。

ご注意：著者校正はありませんので、十分確認した上で投稿をお願いいたします。また、原稿の文字数は、講演題目・発表者氏名・所属・本文を含めて最大700文字（全角）です。これを超えた場合、要旨集に掲載できませんのでご注意ください。

送付先・方法：下記の送付先に、下記のメール件名・ファイル名で、電子メールにファイルを添付してお送り下さい（締切1月28日）。

原稿送付先：JSP43rdKYOTO\_abstract@outlook.jp

メール件名：第43回藻類学会発表原稿（発表の筆頭著者名、複数ある場合は1, 2…）

例：第43回藻類学会発表原稿（栗夫 知守太2）

ファイル名：発表要旨（発表第一著者の氏名、複数ある場合は1, 2…）

例：発表要旨（有部 雄羅太2）

### 13. 発表形式

#### (1) 口頭発表

時間：発表 12 分，質疑応答 3 分です。

機器：発表者のパソコンにつないだ液晶プロジェクター（スクリーン 1 枚）で発表していただきます（OHP は使用できません）。各自でパソコンをご用意下さい（ご自身のパソコンを用意できない方は、あらかじめ実行委員会にご相談ください）。

・使用する液晶プロジェクターは切替器のミニ Dsub15 ピン外部出力コネクタを介してパソコンに接続されます。多くのパソコンはこのコネクタで接続できますが、アップル社製パソコン、あるいは DVI や HDMI 接続端子しか持たないパソコンを使用する場合は各自で接続アダプター、変換アダプター等をご用意下さい。また、パソコンのバッテリーだけでは液晶プロジェクターに出力できない場合がありますので、パソコンに電源がとれるよう、電源アダプターをご用意ください。

・万が一に備え、発表用ファイルをコピーした USB メモリをお持ち下さい。発表用ファイルに静止画、動画、グラフ等のデータをリンクさせている場合は、それらのデータも USB メモリに保存して下さい。

・次演者は次演者席でパソコンに電源をとり、OS を立ち上げて下さい。切替器の空いているラインにパソコンを接続して待機して下さい。前演者の講演が終わり次第、次演者はご自身で切替器のスイッチを切り替えていただきます。パソコンのミラーリングの操作はスイッチの切替後に行ってください。

・会場内に試写室を設けますので、事前の動作確認にご利用ください。

#### (2) ポスター発表

サイズ：ポスター用紙の大きさは、A0 サイズに収まるようにして下さい。

貼付用具：ピンまたはテープを大会実行委員会で準備します。

必要記載事項：ポスターの上部に発表番号、表題、氏名（所属）を記入して下さい。

構成：目的、実験（観察）方法、結果、考察、結論について、それぞれ簡潔にまとめた文章をつけて下さい。

写真・図表：それぞれに簡単な説明文を添付して下さい。

フォント・図表サイズ：少し離れた場所からでも判読できるようご配慮ください。

掲示時間：3 月 16 日（土）8 時半から掲示できます。12

時頃までに所定の場所に掲示し、17 日（日）15 時頃までに撤収して下さい。

若手発表賞：学生およびポスドク（任期付教員は除く）を対象として大会事務局から若手発表賞を授与します。参加申込票に必要事項を記載の上、奮ってご応募ください。

若手ポスター賞：学生およびポスドク（任期付教員は除く）を対象として大会事務局から若手ポスター賞を授与します。参加申込票に必要事項を記載の上、奮ってご応募ください。

### 14. 高校生ポスター発表

高校生に、ポスター発表を通じて藻類学諸分野の専門家や学生との交流の機会をもってもらい、藻類の進化や多様性、そして藻類学のバックグラウンドにある日本の藻類文化に興味をもつていただくのが趣旨です。なお、高校生ポスターの発表者・引率者は、会場で行われている学会講演を自由に見学できます。

高校生ポスター発表は、3 月 16 日（土）の、通常のポスター発表と同時刻に、同じ会場で行います。ポスター作成方法は 13. 発表形式を参照してください。発表者（複数可）および発表者付き添いの教員 1 名は、大会参加費が免除されます。高校生ポスター発表はメールにてお申し込みを受け付けます。メールタイトルを「藻類学会高校生発表申込み」とし、以下の情報をメールにて 2 月 28 日（木）までに JSP43rdKYOTO\_registration@outlook.jp までお送りください。

学校名、代表者の氏名（付き添いの教員も可）、連絡先住所、電話番号、E-mail（携帯不可）、発表者（1 名でもグループでも構いません）全員の氏名、発表タイトル

詳細についてのお問い合わせや、申込みが 2 月 28 日を過ぎる場合については、下記アドレスまでご連絡いただけますようお願いいたします。

日本藻類学会第 43 回京都大会実行委員 神川龍馬：  
kamikawa.ryoma.7v@kyoto-u.ac.jp

### 15. その他

日本藻類学会第 43 回大会関連の情報は、随時、日本藻類学会ホームページに掲載します（[http://sourui.org/annual\\_meeting/index.html](http://sourui.org/annual_meeting/index.html)）。

# 日本藻類学会第 43 回京都大会参加申込票

< 2019 年 1 月 21 日 (月) 必着 >

E-mail : JSP43rdKYOTO\_registration@outlook.jp

(フリガナ)

氏名 : \_\_\_\_\_ 所属 : \_\_\_\_\_

連絡先住所 : \_\_\_\_\_

電話 : \_\_\_\_\_ FAX : \_\_\_\_\_

E-mail : \_\_\_\_\_

## 参加形態 (該当する数字を記入して下さい)

・ 研究発表 : \_\_\_\_\_ (1. 演者として発表する, 2. 共著者として発表する, 3. 発表しない)

・ 懇親会 : \_\_\_\_\_ (1. 参加する, 2. 参加しない)

関連集会/ワークショップはそれぞれ独自にお申し込み下さい。

## 送金内訳 (該当金額に○をつけるまたは該当部分以外を削除し, 送金合計額を記入して下さい)

1. 大会参加費 : 1/21 まで 5,000 円 (学生 3,000 円), 1/22 以降 6,000 円 (学生 4,000 円)

2. 懇親会費 : 1/21 まで 5,000 円 (学生 3,000 円), 1/22 以降 6,000 円 (学生 4,000 円)

送金合計額 \_\_\_\_\_ 円

## — 以下は研究発表を行う演者のみ記入して下さい (該当する数字を記入して下さい) —

注意事項 : 口頭発表は 1 人 1 件とします。研究発表演者は必ず共著者の承諾を得て下さい。研究発表演者は日本藻類学会員に限ります。

演題 : \_\_\_\_\_

発表者氏名 (所属) 共著者がいる場合は演者の左肩に○をつけて下さい。

発表希望形式 : \_\_\_\_\_ (1. 口頭, 2. ポスター, 3. どちらでも良い)

発表賞選考 : \_\_\_\_\_ (1. 応募します, 2. 応募しません) \* 学生・ポスドクのみ記入

ポスター賞選考 : \_\_\_\_\_ (1. 応募します, 2. 応募しません) \* 学生・ポスドクのみ記入

研究材料 : \_\_\_\_\_ (1. 大型藻, 2. 微細藻, 3. その他)

研究分野 : \_\_\_\_\_

- 1. 分類・系統・進化, 2. 生態, 3. 増養殖・藻場形成
- 4. 赤潮・有害藻類, 5. 形態・細胞構造, 6. 発生・分化
- 7. 光合成, 8. 生理・代謝・酵素, 9. 分子・ゲノム
- 10. 利用・加工, 11. 教育・教材, 12. その他

(注意) 口頭とポスターを合わせて複数発表される方は, 1 演題ごとにこの申込票が必要です。この申込票をコピーして演題数分の申込票をご送付下さい。なお, 日本藻類学会のホームページからも申込票をダウンロードできます。

※本申込票送付後, 1 週間以内に大会実行委員会から申込票受領の連絡がない場合は, 大会実行委員会へお問い合わせ下さい。